

我孫子市消費者の会

お知らせ

2023年8月16日 第49期 No. 5-565

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

残暑お見舞い申し上げます。

8月は定例会はお休みしましたが、新しくなったクリーンセンターを8月7日に見学させていただきました。後に記します。

9月定例会

日時 9月4日(月) 13:30~16:00

場所 我孫子南近隣センター 8階 調理室
ご出席ください。

10月定例会

日時 10月2日(月) 13:30~16:00

場所 我孫子南近隣センター 8階 調理室

マイクロプラスチック講座・好評

7月22日に行なった「調べよう!減らそう!マイクロプラスチック」の講座は、参加申込が多く抽選となり、大人14人、小学生11人の親子が参加されました。スタッフ11名を入れてアビスタ工芸室は定員いっぱいの36名となりました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

講師の小倉久子さんから室内で「マイクロプラスチック」について説明を受けた後、手賀沼公園でマイクロプラスチックを探し、瓶に入れて持ち帰りました。その瓶に水を入れ、浮いてきたものをペーパーの上に置き、ルーペでよく観察し、元は何だったのか考えてみました。

小倉さんが持ってきてくれた検見川浜のマイクロプラスチックも水を入れて試してみました。

元は外に出しっぱなしで劣化した玄関マットやジョウロ、カラーコーン、洗濯ばさみなどの

ほかに、道路の舗装塗料などもマイクロプラスチックになることが分かりました。

そして消費者の会の方々が集めて下さったプラスチックに代わるものをいろいろ紹介しました。ブリキのバケツを紹介する時、思わず「ちょっと値段が高いんだけど」と言ったら、すかさず持ち主から「高くても子どもの代までずっと使用できます」と声がかかり、皆さん納得していました。

最後にマイクロプラスチックを生み出さないために私たちに何ができるか考え、「減プラ宣言」をひとりひとりが書きました。ある高学年の男の子が、ずっと考えていてなかなか宣言を貼りに行きませんでした。でも、その子が終わるまで私たちはじっと待っていました。彼は最後に一番上に貼りました。「プラスチックに代わるものを発明する」と。本当に真剣に考えてくれたのだと感動しました。一番小さかった子は「きちんとママのお話を聞く」でした。かわいいですね。どれもよく考えた宣言でした。(裏に一覧)

夏の消費生活パネル展終わる

8月1日~10日まで、アビスタのストリートで、今年の2月に市民プラザで行なったパネルの展示を行ないました。本来、無人の展示会ですが、2日から9日まで、各団体が1時間ずつ説明員を出し、見てくれている市民と、声を交わしました。

我孫子市消費者の会は8月5日。手賀沼花火大会の日でしたので、12時閉館。それでも熱心に写真を撮る人、話をしてくれる方がいて交流ができました。

我孫子市クリーンセンターの見学

4月から我孫子市クリーンセンターが本格稼働しました。消費者の会は8月7日(月)に27名で見学会を行ないました。開始予定時刻は10時でしたが、関心の高い皆さんは9時45分には全員揃い、早い開始となりました。

研修室で施設概要の映像を見た後、整えられた見学コースを回りました。窓から四方に見える水田の緑がとても美しかったです。

担当のF澤さんは、時々クイズを入れるなど飽きの来ない上手な説明をしてくださいました。さらに各コーナーにある説明の映像は、一般用と子ども用と2種類ありましたが、分かりやすいと好評の子ども版を見せてもらいました。

それぞれにキャラクターの鳥が案内してくれるのですが、ネーミングが面白いので次は何だろうと期待を持たせてくれ、評判通り分かりやすかったです。

* () 内は案内の鳥のキャラクター名

- ① 計量器・・・毎日約100トンのごみ
- ② プラットホーム・・・計量の終わったごみをゴミピットに投入する。この時、においが外に漏れないようにエアカーテンがある。(ニオイトリ)
- ③ ごみピット・ごみクレーン・・・ピットには11日分を入れられる。ごみクレーンでよく混ぜ水分を飛ばす。自動運転。この段階で、全国では970件の火事が起きている(2019年)とのこと。使い捨てライター、モバイル充電器、手に持つ小型扇風器などを入れる人がいるから。
*分別に気を付けて欲しいと強調されました。(ツカミドリ)
- ④ 中央制御室・・・施設内の機械の運転、操作を行い、正しく動いているか監視する。3名が勤務。機械は自動だが、人の手が必要。(トリモノチョウ)

- ⑤ 焼却炉・・・850度以上で燃やすことでダイオキシンを分解し、発生しないようにする。通常950~1000度で運転している。(ヒドリ)
- ⑥ 廃熱ボイラ・・・燃やした時に出る排ガスの熱を利用し、水を蒸気に変える。
- ⑦ 蒸気タービン発電機・・・⑥の蒸気を利用して最大1,990kwの発電を行う。4000世帯分。施設運営に消費し、余剰は売電する。(キロワットリ)
- ⑧ 集塵器・・・排ガスの中の有害なものを取り除く。筒状の炉布162本のフィルターで取る。(モノトリ)
- ⑨ 灰ピット・飛灰処理物ピット・・・飛灰処理設備で重金属を取り除き、貯めておく。これらはトラックで施設の外に運び出す。

<質疑>

一回りした後、研修室で質疑が行われました。次々に手が上がり、7人が質問をしました。

- ・850度で大丈夫か⇒950~1000度で運転。
- ・CO₂の削減の2050年に対し、我孫子は独自に行わないのか
- ・プラ削減は消費者だけではできない、公的な所から製造元や店舗に呼びかけて欲しい、
- ・プラごみの出し方について
- ・ソースなどの小袋はまとめて袋に入れるが⇒容器包装リサイクルの基準があるので、袋が何重にもなっているのはダメ。
- ・SDG sの何番にあたるか
- ・市民にもっと分類のPRを
- ・青山台の生ごみモデル事業はどうなったのか
⇒資源化、堆肥販売まで費用対効果でうまく行かなかった。R12年度に新資源化施設を建てたい。
- ・排ガスは古い炉より新炉はどれくらい効果があるのかデータはあるか。
- ・外に出た灰の処理はどうなっているか。⇒主灰：飛灰=5：1 埋め立て 又は 資源化(溶融処理をし、アスファルトの下に敷くなど)。
- ・リチウムイオン電池とは? など。